

議事録	作成日	担当
	2021/3/20	酒井

会議名称	第2回 道頓堀川水辺空間活用検討会
開催日時	2021年3月18日(木)15:00~16:40
開催場所	パークスタワー 7階 B会議室

出席者 (役職・敬称 略)(順不同)

【委員】 嘉名 座長(大阪市立大学大学院 工学研究科 教授)、杉山(兵庫県立大学 環境人間学部 准教授)、豊島(弁護士)、吉田(公認会計士)、上山(道頓堀商店会 会長)、増田(宗右衛門町商店街振興組合 理事長)、高井(道頓堀商店街振興組合 理事長)、高橋(ミナミ御堂筋の会 会長)、田中(道頓堀一丁目西櫓振興町会)、(代理)池田(明)(道頓堀商店連盟)、加瀬澤(塩草連合会 副会長・桜川東振興町会 会長)

【大阪市関連部局】 谷口(中央区役所)、(代理)小林(浪速区役所)、大島(西区役所)、渡部(経済戦略局)、中瀬(建設局 河川・渡船管理事務所)

【事務局】 川戸、松原、山内、古川(建設局河川課)

【管理運営事業者】 三谷、矢野、酒井、竹田(南海電気鉄道株式会社)

【傍聴・報道関係】 中本総合法律事務所1名、道頓堀商店会1名、河川・渡船管理1名、務南海電鉄1名(傍聴) (28名)

提供資料	作成元
資料-1 「道頓堀川水辺空間活用検討会」開催要綱	事務局(建設局 河川課)
資料-2 道頓堀川水辺空間活用検討会委員名簿	事務局(建設局 河川課)
資料-3 座席表	事務局(建設局 河川課)
資料-4 第1回 道頓堀川水辺空間活用検討会 議事要旨	事務局(建設局 河川課)
資料-5 2020年(令和2年)度の管理運営状況等について	管理運営事業者(南海電気鉄道株式会社)

<p>1. 開催</p> <p>本日は、お忙しい中、またコロナ禍の中お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より「第2回 道頓堀川水辺空間活用検討会」を開催させていただきます。本日の司会を担当させていただきます、大阪市建設局企画部河川課の古川です。よろしくお願ひします。会議中はコロナウイルス感染防止のため、マスクの常時着用をお願いいたします。また、換気のために随時扉の開放を行いますのでご了承ください。なお、会議中に発言を希望される際は、マイクをお渡しさせていただきますので、挙手でお知らせいただきますようお願いいたします。</p> <p>本日は傍聴者がおられますので、まず、本日の会議傍聴に当たりましての留意事項を説明させていただきます。入場時にお配りした「会議の傍聴について」をご覧ください。【2 傍聴者の遵守事項】傍聴者は、会場内において次の事項を守ってください。はち巻き、たすき、ヘルメット等は着用できません。ビラ配布、プラカード・旗等の持込みはできません。会場内での飲食及び喫煙はご遠慮ください。携帯電話などは、受信音が出ないように電源を切るかマナーモードへの切り替えをお願いします。写真撮影、録画、録音等はご遠慮ください。会議開催中は静かに傍聴し、発言、拍手等による公然とした意見表明はお控えください。その他会場の秩序を乱すなど、会議の支障となるような行為はお控えください。</p> <p>続いて【会議の秩序維持】につきまして、(1)傍聴者は、会場内においては、座長又は事務局の指示に従ってください。(2)指示に従わないときは、退場していただく場合がございます。傍聴にあたっての留意事項は以上です。本会議の円滑な進行にご協力ください。</p> <p>それでは、会議を進めてまいります。まず、事務局を代表いたしまして、河川課長の駒谷より一言ご挨拶を申し上げる予定でしたが、諸事情により急遽欠席となりましたので、河川課長代理の川戸よりご挨拶申し上げます。</p> <p>建設局企画部河川課の課長代理をしています川戸です。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は年度末のお忙しい中、会議にご出席いただきましてどうもありがとうございます。課長の駒谷が急な諸事情で、私の方から一言ご挨拶をさせていただきたいと思ひます。この道頓堀川における水辺空間の賑わいづくりは、平成24年度から進めておられて、昨年度で3期目を迎えることになりました。</p> <p>この間、地域の皆様方のご協力と管理運営事業者である南海電鉄さんの色々な取り組みによりまして、道頓堀川にも色々な方が訪れる場所になったと思ひます。ただ残念ながら今年度は新型コロナウイルスの影響で状況が大きく変わって、イベントの自粛とか、そういったことを迫られて、皆さん、賑わいづくりといった観点からしますと非常に厳しい1年ではなかったかなと思ひます。</p> <p>道頓堀川の賑わいづくりと言ひますのは、海外を含めましてみなさんから非常に注目を浴びているところがありまして、観光客の方もたくさん訪れる場所になっています。ですのでコロナ禍が収束しまして、再び道頓堀川に賑わいが戻ってくるように我々河川管理者としても積極的に情報発信をしたいと思っております。</p> <p>ここで、ご報告なんですけど、沿川周辺の方にご迷惑をおかけしていた太左衛門橋の修復工事ですけども、実はこれまで工事の入札を繰り返していたのですが、不調が続いておられて、ようやく今年度、工事の契約ができました。また、この3月に工事の方も無事に終わることができましたので、周辺の方に色々ご不便をおかけしましたが、この場をお借りしましてお詫びを申し上げます。</p> <p>もう一つなんですけど、昨年度の検討会で東横堀川水門と道頓堀川水門の操作の延長についてご報告をさせて頂いたのですが、今年度コロナ禍による影響によって例年通りでない状況となりましたので、実施を見送っている状況となっています。ですので、またコロナの状況を見ながら適切なタイミングでこちらの方は実施していきたいと思ひますので、その際にご報告をしたいと思ひます。</p> <p>昨今のコロナ禍による観光客の減少といった暗いニュースが多いんですけども、片や一方で、東京オリンピックですとか関西万博といった大きなイベントも控えていますので賑わいもどンドン戻ってくるんじゃないかと我々期待しているところです。今後、道頓堀川に多くの人々が来ていただけるように、地域の皆様、そして南海電鉄さんと我々大阪市が集う検討会で色々ご議論いただいて、道頓堀川のより良い水辺空間の賑わいづくりとしてご意見をいただきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。以上雑駁なんですけども、私からのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>それでは、お手元の配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p><資料説明></p> <ol style="list-style-type: none"> 『議事次第』 『資料1 「道頓堀川水辺空間活用検討会」開催要綱』 『資料2 第2回 道頓堀川水辺空間活用検討会 出席者名簿』 『資料3 第2回 道頓堀川水辺空間活用検討会 座席表』 『資料4 第1回 道頓堀川水辺空間活用検討会 議事要旨』 『資料5 2020年(令和2年)度の管理運営状況等について』 <p>以上、資料は6種類ですが、資料の不足がございましたら、お知らせ願ひします。</p> <p>2. 事務局より委員・出席者紹介</p> <p>それでは、議事次第に沿って進めさせていただきます。まず、本日の出席者をご紹介します。資料2に本日の出席者名簿、資料3に本日の配席表を添付しております。</p> <p>学識経験者の委員の方々をご紹介します。</p> <p>大阪市立大学大学院 工学研究科 教授 嘉名光市先生、兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 杉山武志先生、弁護士 豊島ひろ江先生、公認会計士 吉田恭子先生。</p> <p>続きまして地元代表者の方です。</p> <p>道頓堀商店会 会長 上山 様、宗右衛門町商店街振興組理事長 増田様、道頓堀商店街振興組理事長 高井様、ミナミ御堂筋の会会長 高橋様、道頓堀一丁目西櫓振興町会 田中様、道頓堀商店連盟会長の池田様の代理出席として池田様、高台連合振興町会の長岡様は欠席です。</p> <p>塩草連合会副会長・桜川東振興町会会長 加瀬澤様。</p> <p>次に、本市関連部局からの出席者をご紹介します。中央区役所まち魅力推進担当課長谷口様、浪速区役所企画調整担当課長の仲村様が欠席ですので代理出席として同じく総務課企画調整担当係長小林様。西区役所 きずなづくり課長 大島様、経済戦略局 観光部観光課 水辺魅力担当課長 渡部様。建設局 西部方面管理事務所 河川・渡船管理事務所長 中瀬様。</p> <p>次に、管理運営主体からの出席者をご紹介します。</p> <p>南海電気鉄道株式会社 まちづくり創造室グレーターなんば創造部 部長 三谷様。同じく矢野課長。酒井課長補佐。竹田課長補佐。</p> <p>最後に、事務局 大阪市建設局企画部河川課の出席者をご紹介します。</p> <p>河川課長の駒谷は本日諸事情で欠席です。次に河川課長代理の川戸です。担当係長の松原です。担当係長の古谷も諸事情で欠席となります。山内と古川です。</p> <p>それでは、ここからの進行につきましては座長をお願いいたします。なお、昨年度開催の検討会におきまして、互選により嘉名委員を座長に、豊島委員を座長代理に選出させていただいておりますので、嘉名座長に議事進行をお願いしたいと思います。</p>	<p>(者・発言部署)</p> <p>事務局 河川課 古川</p> <p>事務局 河川課 川戸</p> <p>事務局 河川課 古川</p> <p>事務局 河川課 古川</p>
---	---

議事録	作成日	担当
	2021/3/20	酒井
<p>3. 議事 (1)振り返り</p> <p>はい、それでは、みなさん1年ぶりでございます。お久しぶりでございます。議事に従って進めていきたいと思っております。まず最初に、前回検討会についての振り返りを行ってまいります。「第1回 道頓堀川水辺空間活用検討会」について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは事務局より説明をさせていただきます。 みなさまお手元の資料の5ページをご覧くださいませでしょうか。資料4です。 前回、令和2年2月に今回と同じパークタワー会議室にて開催されました。出席者については記載の通りです。議事につきましては、先ほど紹介がありましたとおり、まずは本検討会の座長、座長代理の選出を行いまして、座長に嘉名先生、そして嘉名座長のご指名により豊島先生を座長代理として選出させていただきました。配布資料の1、資料の2ページに開催要綱が入っていると思いますが、開催要綱の第3条第1項及び第3項に、互選による選出という定めがありますので、これに基づいて選出となっております。よって先ほどご紹介させていただいたとおり今回の検討会でお二人には座長および座長代理としていただいております。 資料、戻っていただきまして5ページ、前回検討会の報告事項としまして事務局より1点、管理運営事業者である南海電鉄様より1点のご報告をおこなわせていただいております。事務局よりの報告としましては、道頓堀川水辺空間における賑わい創出の経過について説明をさせていただきます。道頓堀川における社会実験の取り組みや、南海電鉄様が平成24年度から第1期、第2期を終えて第3期の管理運営をスタートしていただいた経緯について説明をさせていただきます。そして、南海電鉄様からは第3期である2019年度の管理運営状況についてのご報告をしていただきました。具体的な内容で言いますと、ウォールアートに関する取り組みやインフォメーションボードへの広告記載等々の様々な取り組み内容についてご報告いただきました。また、道頓堀橋下の通路の封鎖時間の変更についてということで、従前0時から明朝5時までフェンスによる封鎖を行っていたのですが、ここを1時間短縮するという取り組みについてご報告をいただきました。 次に調整事項としまして、事務局から1点、先ほど川戸の挨拶の方でもあったんですが、水門利用時間の延長についてご報告させていただきました。具体的には東横堀川水門および道頓堀川水門の利用時間の延長について、閉鎖時間を22時から23時に1時間延長する旨をお伝えさせていただきました。そして、利用延長の実施に先立って実施した音量調査の結果についてもお伝えさせていただきました。河川から発生する騒音は問題となるようなレベルではない旨を報告させていただきました。そのうえで、前回の時点では、令和3年度以降に本格実施で行っていく旨で前回検討会では説明をさせていただきました。そして最後、その他事項ということで、道頓堀川船着場におけるネーミングライツのパートナー企業募集について事務局から1点報告させていただきました。内容としましては、太左衛門橋船着場、湊町船着場、日本橋船着場のネーミングライツパートナーの募集と決定について報告をさせていただきます。太左衛門橋船着場および湊町船着場については一本松海運株式会社様を、日本橋船着場については株式会社One Osakaリパークルーズ様をパートナー企業として決定し、3年間愛称を使用すること</p> <p>はい、ありがとうございました。ただ今の件につきまして、何かご質問やご意見はございますか。ないですか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、前回の議事を確認したということで次に進めたいと思っております。報告事項として「2020年度の管理運営状況等」について、南海電鉄さんから説明をお願いしたいと思います。</p>	嘉名座長	事務局 河川課 松原
<p>(2)報告事項 ◆2020年(令和2年)度の管理運営状況等について(資料-4)</p> <p>皆様、本日はお忙しい中、道頓堀川水辺空間活用検討会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。南海電鉄 三谷でございます。日ごろから、とんぼりリバーウォークの管理運営にご協力を賜りまして大変ありがとうございます。</p> <p>さて、本日は、令和2年度の管理運営状況について、当社の方からご報告をさせていただきますが、先ほどお話にもありましたとおり、本年は新型コロナウイルスの影響によってインバウンドのお客様の喪失、そして休業要請があったり、現在も継続していますが時短要請があったりして、周辺の商店街の皆様、町会の皆様も大変ご苦労されているなかで、とんぼりリバーウォークの運営にとっても非常に厳しい1年となっております。しかしながらそのなかで、なんとか活性化できないかということを考えて感染対策を十分にしようとして、イベントの実施やアフターコロナを見据えた取り組みを行って、なんとかミナミの活性化、大阪の活性化に貢献できればということで、この1年運営をやってまいりました。</p> <p>来年度の1年、運営をさせていただきますが、何とかこのコロナに打ち勝って大阪全体の活性化ができるような形で、運営していきたいと思っておりますので、また皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、詳細は担当からご報告させていただきます。</p> <p>南海電鉄 酒井です。それでは、2020年度の管理運営状況についてご報告いたします。よろしくお願いたします。 それでは、資料7ページをご覧ください。 前年度後半からの新型コロナウイルス感染症の流行と感染拡大防止により、全国的にも緊急事態宣言が発出されるなど感染拡大防止対策が下の図1のように取られました。さらに、外出自粛で大阪随一のミナミの観光スポットでもある戎橋を中心とした付近では、毎日のように報道・ニュース番組等で「まちの状況」が紹介されるなどで、「まちのネガティブなイメージ」がアナウンス効果となり、周辺来場者の減少にさらなる拍車をかけた状態となりました。 また、道頓堀川でも「歌舞伎船乗込」、「難波八阪神社船渡御」などの伝統行事の開催が中止になるなど、地域行事にも影響がありました。 南海電鉄としましては、国・大阪府市からのイベント等開催の自粛要請もあり、SDGsも取り入れた地域活性化貢献事業として、例年取り組んでいた小学生による花植えや自社イベントの開催を見送りました。そのようななか、親水性がある遊歩道では、日常とは違った空間で、ひとときの安らぎを継続して提供できることや3密を回避できる点なども考慮して、後ほどご紹介いたしますが、花を定期的に植え替えた花壇、道頓堀橋の下通路を活用した演出や冬季のイルミネーションなどで魅力づくりを継続しました。今後も安心・安全を柱として、遊歩道を訪れたいと感じられる環境を維持しながら、魅力的な場所になるよう引き続き取り組みを進めたいと思っております。</p> <p>8ページに参りまして、南海電鉄の取り組みをご紹介します。①5月下旬から 大阪モデルに基づく警戒基準(信号)にあわせた 戎橋のライトアップを四商店街さんと共同で実施し、6/20からは国連世界難民の日と医療従事者等、日々新型コロナウイルスの感染リスクと向き合いながら私たちの命を守るために最前線でご尽力されている方々への感謝の意を込めまして、11日間はブルーで点灯をしました。その後、一時的に終了しましたが、イエローを7/13～8月末まで点灯し、今後の赤色点灯への地域への風評影響を考慮し、また10月から開催するイルミネーションまでの区切りとして8月で点灯を終了しております。 9ページをご覧ください。前回、第1回の検討会でもご報告しましたが、道頓堀橋下 通路での 夜間における遊歩道の東西回遊性向上と防犯面での改善検証のため、2019年11月から試行的に開門時間を延長しました。2020年7月までは、1時間の開放延長を行いましたが、安全面・管理面での支障もなかったため、2020年8月からは、5時間の開放延長により、24時間常時開放を行っていますが、現状も一定数の通行者がありつつ、課題、支障もありません。表①で、左側黄色のグラフは、1時間の開放延長した時の1時間の月間通行量です。また右の青色グラフは 深夜00:00から05:00までの5時間を開放延長したものとなります。日毎の右岸・左岸における東西通行者数データは、参考資料としてP23以降に添付しています。その下③は、道頓堀の「いまむかし」を紹介したパネルや まちが育んできた芸能文化、賑わいの様子などを伝えるパネルを計30枚展示しています。管理は南海電鉄で行っていますが、中央区役所さま主催で弊社南海電鉄とで設置しました。パネル展は左岸で絶賛開催中です。</p> <p>10ページからは、前年度からの継続した取り組み案件を掲載しています。④はロングボード枠の複数年契約での貸し出しで、安定した広告収入を得られています。また、当初想定はなかったのですが、赤枠で囲っている画像のように若年層を中心として、SNS等への投稿するために広告物撮影のために来場する集客効果があることが判明しました。⑤は、④の以前に設置していたロングボード広告枠を日本橋エリアに移設活用した事例です。 11ページをご覧ください。⑥の花壇等への植栽です。西側、大黒橋エリアの活性化策の一環で、前年度では試行的に6～9月までの期間限定で、右岸だけで小型のひまわりを植えました。景観としてご好評をいただいたのとゴミ減少効果も得られたため、本年度は両岸に拡張しました。四季に応じた花を植え花壇を彩り、華やかさと安らげる空間を提供しました。また、他エリアでもコンクリート製植栽マスの活用や相合橋でのプランターなど、植栽の水やりや植替え等維持管理費用の軽減に取組みつつ、景観維持を念頭にフェイクフラワー造花プランターを設置しました。下の画像⑧⑨どちらも造花です。これらも定期的にカラーを変えた造花を入替たり、配置換えでカラーリングを変えることで季節感あふれるスポットとして進めました。</p> <p>12ページ、⑦のウォールアートは、前年度7月の開始当初は10作品でスタートしましたが、現状では21作品を展示しています。本年度は一番下の3点を追加しましたが、そのうち2作品は企業協賛による広告となっております。</p> <p>13ページの⑧、informationボードも前年度からの試行実施で本年度も継続して有料広告掲載場所としてご利用いただいております。⑨、イルミネーションにつきましては、道頓堀橋下の通路への装飾は前年度から継続して通年で設置し、回遊性向上テストを継続しています。今回は、少しスケールダウンとなりましたが、イルミネーションの明かりを夜間防犯対策も意識して西側エリアを中心に展開いたしました。</p> <p>14ページは、本年度開催できなかった小学校との取組などをご参考までに記載しています。 つづきまして、15ページ 3、賑わい創出についてです。冒頭でもお話ししたとおりですが、(1)イベントは、本年度74件の見込でパネル展示等の常設展示によるものが中心となりました。前年度終盤から5月下旬までのイベント等自粛要請を大阪府市から受け、自粛解除後の6月も弊社判断で自粛を継続しました。7月になり新しい生活様式でのイベント開催を目指して、他施設での開催方法も参考に進めました。ただ、検温や消毒を取り入れての開催は、一般通行動線でもある遊歩道のため、主催者・関係者の方々もご苦労をされていましたが、来場者のご理解ご協力で開催できました。が、そのような状況も感染者数増加で開催の中止などもしばしばありました。毎年恒例の万灯祭の提灯も実施されましたが、点灯初日の式典は中止されました。来年度も引き続き、状況を注視しつつ 安全安心に注意を払いイベント開催に努めたいと思っております。 (2)ロケーション撮影も同様に前年度の約半分となる14件が実施されました。 (3)独立型店舗は本年度の出店はありませんでした。 (4)広告事業は、「南海の取り組み」でもご紹介した3案件で、継続した広告収入も得られています。</p>	嘉名座長	管理運営事業者 南海電鉄 三谷
		管理運営事業者 南海電鉄 酒井

議事録	作成日	担当
	2021/3/20	酒井
<p>17ページの オープンカフェにつきまして、飲食店への営業自粛、時間短縮営業などの影響が顕著にでました。本来であれば、恒常的な賑わいの沿川店舗と一時的な賑わい創出のイベント開催との相乗効果で来場者に繋げるところでしたが、外出自粛も重なり低迷しました。弊社、南海電鉄としましてもコロナ禍の状況を鑑みまして、ご契約店舗に利用料の4月～6月までの3ヶ月分を減免し、地域が元気になるよう以後の弾みになればとの思いで協力貢献いたしました。長期休業や閉店、オープンカフェを利用したいとのニーズはあるものの費用面で利用断念されるなど 結果として 契約最高の月でも利用は33店となりました。現状の本年度内で、今までご契約いただいていた閉店・退店舗は11店舗となり、長期休業を含めると18店舗にもなります。来年度はさらなる利用促進施策を検討するなどエリア全体の活性化に努めたいと考えています。</p> <p>続きまして、19ページをごらんください。4の現場管理ですが、遊歩道での事故・トラブルの未然防止と安全確保、破損施設等の一次保全活動や不法占用の情報連携など多岐にわたる業務と定期巡回、防犯カメラでの映像監視など24時間での警備体制で取り組んでいますが、迅速な対応を求められる緊急時には、現場での一次的な対応と警察や消防なども連携を図ることも重要となります。そのため、遊歩道管理に携わる警備員は、安全かつ適切に業務を履行すべく、定期的な研修等に参加し、資質の向上に研鑽しています。同様に、遊歩道での業務を行う清掃担当をはじめ、イベント等での現場管理の担当者らもそれぞれの業務区分に応じた研修に参加して日々業務に取り組み、異常時の情報を警備事務所で一元的に管理し、迅速な初期対応がとれる運営を行っています。その他、南海電鉄担当者と現場管理各責任者として定期的な会議により、諸問題の情報共有とその対策検討等、安全かつ適切な遊歩道管理を推進しています。さらに毎年恒例となっているハロウィンやカウントダウンでの戒橋等からダイブなどの危険行為や雑踏の警戒につきましましては、地元地域とも情報交換、所轄警察署と事前会議を開催するなど対応策の調整と連携を行っています。</p> <p>清掃に関しましては、前年度に続き再度日数を追加し、年間265日にわたり清掃を実施し、清掃日以外にも南海電鉄の担当者にて自主清掃を行っています。なお、前年度は 地域の方々にも「とんぼりリバーウォーク」に関心を持っていただきながら美化活動に協力をいただいておりますが、本年度は新型コロナウイルス禍で活動は自粛しました。</p> <p>その下、中ほどからは、本年度の課題と対応策を記載しています。大黒橋下の通路で座り込みがちよこちよこあり、防止策を検討・実施いたしました。ポイントとしましては、p11で紹介しました造花プランターの入替した後の廃棄前のものを活用して座り込む場所に設置いたしました。これにより、スペースを無くし、景観美観の向上、さらに廃棄前プランター活用でコストは不要、となる対応策がとれ、プランターへのいたずらも発生していません。</p> <p>それと、本年度に入り今抱えている課題が、スケートボードです。他や全国でも課題となっているようですが、遊歩道の各所でスケートボードをしている状況が散見されます。直接の注意や掲示物での禁止表示などを行っています。抜本的な解決にいたっていません。本日お越しになられているスポーツカバシさんがビッグステップでスケボーパークを運営されているので相談をさせていただいたり、スケボーパークでの注意喚起などのご協力をいただいたりしていますが、リバーウォークだけの課題でもないこともあり、困難な状況です。警察署にも相談と巡回強化などを依頼していますが、委員の皆様からの何かいいアイデアなどがあれば、ご教示お願いいたします。</p> <p>つづきまして、20ページの収支です。資料としましては、22ページA3をご覧ください。</p> <p>上段の実績比で、本年度は第4四半期が見込となりますので実績見込数値となっています。利用料収入では、前年度比で広告収入だけが400千円の増となっています。これは前年度からイベント等に頼らない収支構造の改革に取り組んできた結果となります。広告以外での減収、特にイベントで約▲7,000千円やオープンカフェ利用料3ヶ月分の減免、イベント等自粛なども影響し利用料収入が16,574千円、それと受託料とで収入合計で約47,884千円。費用は、警備費や清掃費の人員費見直しと清掃回数増による費用増はありますが、それら以外の支出を圧縮し合計51,496千円となり、収支差引で約▲3,612千円となりました。そこから、植栽やイルミネーションで支出した地域貢献費用4,137千円を加算すると、トータルで約▲7,745千円、5年ぶりの赤字となりました。</p> <p>最後、参考資料としまして、23ページからは 道頓堀橋下通路の開放延長時の日毎通行者数のデータと27ページ以降は本年度開催したイベントをご紹介します。</p> <p>南海電鉄からの報告は以上となります。ありがとうございました。</p>	<p>管理運営事業者 南海電鉄 酒井</p>	
<p>はい、ありがとうございました。 大変厳しい状況の1年ということで、振り返っていただきましたけれども、ここまで皆さん何かご質問、ご意見などございますでしょうか。</p>	<p>嘉名座長</p>	
<p>現場で頑張っておられる方々を前にしてなんですが、今年度の取り組みに関してはもうこれ以上はないのかなと考えています。そのうえで、私から伺いたいのですが、南海さんに10年間お願いしているなかで2年が終わって残り8年あります。そのなかで、お願いしたいこととちよつとご質問があります。当面、この状況が続くと予測されますが、そうすると5年目から10年目を想定されたうえでの計画の修正も含めて、検討が必要になってくるかとの感覚であります。その5年から10年先ぐらいをどう考えておられるのかをまず1つ目の質問として、もう1つ私からの提案ではありますが、その検討いただくのか、いただくときに、今まではインバウンドを中心としての計画を立てられていたと思いますが、そのパターンも計画変更は大事だとも思いますが、一方でそうじゃない可能性も無きにしても非ずで、やはりインバウンドがなかなか戻ってこない可能性も想定できるでしょうし、そうなったときに国内をどの程度重視するのか、近隣の方々をどの程度重視するのかという問題もあるかと思うんですが、その時のパターンの検討をどれぐらいなさるのかを聞いてみたい。私としては、2から3パターン程度は持っておかれる方がいいのではと思うんですが。</p>	<p>杉山委員</p>	
<p>ありがとうございます。</p> <p>まず、非常に厳しい状況というのは弊社だけでなく道頓堀を中心とした各商店街様、事業者さん、みなさん大阪全体も含めてですが、一緒の状況かなという認識です。その中でも、このとんぼりリバーウォークにつきまして、先ほどおっしゃられた5年から10年先の計画であったり、目途につきましては、先ほど酒井からも話をしましたが、基本的な運営の軸である「安全・安心」と「きれいな」というところの清掃、ここはしっかりと守ってやっていくべきだという認識です。あと、費用の削減できる箇所はごく僅かになっておりますので、最終的には大阪市様のご協力もいただきながら何とか維持管理に努めていきたいと思いますが、正直どうすれば抜本的な改革になるのかという点につきましては、明確な計画というのはまだ見えてはいません。ただ、インバウンドであるとか国内であるとかのパターンということにつきましては、ここをピンポイントで捉えるのではなく、なんばやミナミ全体を捉えていかに回遊性を高めるイベントに結び付けるのかとか、あるいは鉄道事業者も南海だけではなく、他社との鉄道連携も含めて、他エリアからここを目指して来ていただけるお客様をいかに増やせるか。また、広告枠も先ほど話をしましたが、SNSで情報発信をしていただける新たな観光名所としてお越しいただける仕掛けをどう作るか、といったことを地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。南海単独では、できませんので皆様方のご協力を得ながら色々なパターンを考えて実施していきたいと思っております。</p>	<p>管理運営事業者 南海電鉄 矢野</p>	
<p>今、矢野からも話をしましたが、単独で考えると継続性もなかなか難しいと思っております。</p> <p>当部は、グレーターなんば創造部といいますが、ミナミを活性化するという大きな使命がありまして、新今宮エリアからこのエリアを含んだエリアを活性化していくということで、例えば1つの事業で、直接この場とは関係がないかもしれないですが、今取り組んでいるのが南海なんばの駅前、今タクシースクールがあるところなんですが、ここを車が通らない空間にして人優先にしてこのエリアを活性化していくとか、勿論とんぼりリバーウォークとこの駅前広場をどうしていくとか、先々でいいます2031年に南海がなにわ筋線で延伸しまして、ミナミに新しい駅ができてキタとつながるなどこのチャンスを捉えて、ミナミからの流出ではなくキタからのお客様を誘引して、とんぼりリバーウォークにお越しいただくとか、そういった中期・長期的な計画を今のところ考えており、特に駅前広場の計画については大阪市様とはかなり具体的なところまで進んでおりますので、そういうかたちで活性化に努めていきたいというふう考えております。</p>	<p>管理運営事業者 南海電鉄 三谷</p>	
<p>はい、ありがとうございました。少し見逃せないところはありますが、エリア全体のまちづくりと呼応しながらというところを考えておられるということでした。それでは、他いかがでしょうか。</p>	<p>嘉名座長</p>	
<p>豊島です。詳細な報告ありがとうございました。</p> <p>コロナ禍のなかでの活動のご報告をいただけるということで、一体どのようになるのかと、非常に厳しい状況でイベントもできない、毎年カラーで写真も盛り込んでいただいてこんなにたくさんイベントをしましたという報告を毎年楽しみにさせていただいていたんですが、イベント数はどこまでいくんだろうと思っていたところ、コロナ禍で減ってしまったというのは致し方ないと考えていたのですが、意外と活動をすごいされているなど正直な感想でして、何も無いイベントとかもゼロかと思いきやコロナという制約の中で、色々な工夫をさせていただきまして、花壇の植え替えですとかロングボードですとか、制約の中での活躍をいただいたなと思っておりまして、特にびっくりしたのが資料27ページ以降のイベント実績でコロナ禍の中でもこれでだけを実施したのかと驚きました。また日付をみると7月から10、11月にかけての緊急事態宣言が明けてから夏以降のGoToトラベルがある中でイベントが集中しているので、やはりコロナ明ければこれぐらいのイベントができる潜在的な可能性があるということイベント開催状況を拝見させていただいて思いました。コロナ禍の中で非常に苦しい状況だとは思いますが、やはり世の中、右上がりの一本調子でいけないのかなと、一回沈んだこの時期にさらなる力をためていただいてコロナ明けにはさらなる飛躍をしていただけるんじゃないかと非常に期待しております。コロナ禍で今後様子を見ながら活動・実施していかれるんだろうと思いますが、WITHコロナ時代で私自身、大いに変化を感じましたのが、やはりオンライン化でした。仕事柄お客様とは面談での相談等を行っていたのですが、打合せがすべてオンライン化になりまして、ZOOMなどを使用した会議などを頻繁に行われ、そういう変化というのは、道頓堀のアフターコロナに際して計画の修正という話もありましたが、そういったツールなどを使っていただければいいと思えました。</p> <p>資料10ページの新ロングボード広告枠のところ、若年層を中心にSNSなどで広告と一緒に写真を掲載する集客効果があるということで、本当に若い方にはSNSがなくてはならないツールになっていて、Facebookでは定期的に情報発信をさせていただいているんですが、その中に道頓堀のハイポイントを掲載していただいたりとか、行くのを待ち焦がれている方に向けての情報発信などもやっていただけたらなと。あと、1点ご質問なんですが、収入で広告収入が昨年より増えていると、思ってもみなかった結果になっているんですが、前の年からの取り組みが結果として現れたということだと思っております。22ページ下のグラフの収入割合で2018年度では広告収入が0だったのが、広告収入割合がどんどん伸びてきているのは、皆さんの努力の成果だと思います。来年度の広告収入は人が集まらない場合でもSNSなどで世の中に発信することによって道頓堀ブランドは高いものがあるので世界に向けて発信していける力があると思うのでそのあたりも活用されてはと。実際は難しいとは思いますが、広告収入の売り上げ向上を目指していただければと思います。以上です。</p>	<p>豊島委員</p>	

議事録	作成日	担当
	2021/3/20	酒井
<p>ありがとうございました。南海さん何かコメントございますか。</p>		嘉名座長
<p>ありがとうございました。おっしゃる通り各種SNSをうまく活用してしっかりとwebで情報発信する、これは日本だけでなく世界中に響く話です。道頓堀はブランドとして非常に知名度もあり、これは廃れておりませんのでいかにこのブランドを継続維持しながら我々もこの事業を含めて賑わいを創出できるかについて、まさか今の様な事態になろうとは思っていませんでしたが、イベントに頼らなくても継続維持できる事業の在り方を2018年、2019年度を中心に考え取り組んでまいりました。広告収入も2019年度から効果が表れてきたということで、今年度に限ってはコロナ禍のなかでもさらに増加したという点を注目していただければという思いです。広告については、屋外物広告条例等あるかと思いますが、行政さんに協力いただきながら世界中に発信できるように頑張っていきたいと思えます。</p>		管理運営事業者 南海電鉄 矢野
<p>ありがとうございました。 それでは吉田委員、どうぞ。</p>		嘉名座長
<p>吉田です。杉山委員と豊島委員に先に言われてしまいましたが、ほとんど同意見で私も収支報告を拝見して、思っていたより悪くなかったと思えました。あと、広告枠に関しては地道な努力がこういう時に効いてくるんだなと感じました。とにかく人が集まっていけないという風潮のなかで、逆に、逆手にとって良かったなと思ったのが、花壇、植栽に力を入れ工夫を凝らし景観を保たれたというのと、あと、人が集まらないのでゴミも少なかったのでもさらに清掃もやりやすかったのでは。そのあたりイベントができない中で非常に工夫されたんだなと伝わってまいりました。今、豊島委員もおっしゃられていましたが、SNSやwebのツールを活用した仕掛けをするなど、今は人を呼ぶイベントができないので、ライブ動画の配信など賑わい創出の観点からは違うんでしょうけど、この状況下で特に若い方とか自分から発信する場を求めている方も多くいらっしゃると思うので、例えばyoutuberとか、そういう方にうまく接点があれば、今は人がいない状況なので、「ここで何かやってみませんか、情報を発信してください」のようなwebイベント的なこととか、とにかく人を集めずに発信できる方法など検討されてはどうでしょうか。総じて、非常に努力されているのがわかりました。引き続き、よろしくお願いたします。</p>		吉田委員
<p>ありがとうございました。 では、高橋委員どうぞ。</p>		嘉名座長
<p>心斎橋パルコの地下2階に「心斎橋ネオン食堂街」がオープンしまして、すごい人が来られてました。インバウンドが少なく、今がチャンスともいえるのではと思います。御堂筋の緩速車線も工事されて、車も自動運転が普及されて御堂筋も変わるのではと思います。御堂筋沿道にサインージ広告を設置して儲けたりするのは。まちづくりとしては、御堂筋の規制緩和で高層ビルを建てる、高級マンションなど、これもチャンスだと思います。今年もインバウンドは難しいと思いますが、新しいことをするチャンスです。地元であった店もなくなったりしている。心斎橋、戎橋など品格をもちながらまちとしてもリノベーションで生まれかわる、楽しみにしています。リバーウォークについては、インバウンドもなく、南海もよく頑張っていると思う。まだ川側のビルも出入口がない店もありますが、これからだと思えます。今、こういう時期なので苦労と思わず、今後いいように変わるとも思っていますので頑張っていただけたらと思います。</p>		高橋委員
<p>ありがとうございました。 他、いかがでしょうか。増田委員どうぞ。</p>		嘉名座長
<p>宗右衛門町商店街は、7年ほど前に石畳みに道路を変えましたけど、その時には歩行者専用道路にしたかったが、道路沿いにモータープールが3ヶ所あり、なかには商店街の理事がやられてたりするところもあったりで、断念して歩車共用道路としました。今は、大きなパーキングが1つとなり、理事らからも当時の歩行者専用を目指したいとの声が出てますし、宗右衛門町は、「食と酒、川がある街 宗右衛門町」で道頓堀川と一体となっているので、今期の役員会で歩行者専用道路にしようとして総会で表明しました。警察や色々なところと協議をしながら、2025年万博ぐらいをめどに実施したいと思っています。それと、リバーウォークができた際には、宗右衛門町と道頓堀川の高低レベルが違って、宗右衛門町から見ると道頓堀川が半地下になっているので出入口を設置するとすると半地下部分になるのでなかなか難しく、ビルを建て替えないといけないぐらいの状態。そのようななか、リバーウォークに出る道も東側に1ヶ所とあとはドン・キホーテの中を通過して出るところしかなく、リバーウォークに降りても、そこから宗右衛門町などに戻りにくい状況があるなかで、ビルは建て替わると川側との出入口を設けるなど、賑わいは出てくるのではないかなと思う。ただ、もう少しビルの建て替え時期が早くなると、必ずリバーウォークも宗右衛門町側にも往来できる通路を造るのと、御堂筋も歩道が広くなってくる、道頓堀も歩行者道にしているのと宗右衛門町も時間制限で歩行者道路にできるか、今から協議なんですけど、そういう意味では、これからリバーウォークも人の流れが万博までにだいぶ良くなると思います。以上です。</p>		増田委員
<p>ありがとうございました。 ほか、いかがでしょうか。 はい、中央区役所さま。</p>		嘉名座長
<p>中央区役所の谷口でございます。 先ほど、委員の先生方からSNSの活用ですとかのご意見をいただいていたのですが、コロナ禍のなかでいかに取り組みを進めるかほんとに悩ましく、クラスターを発生させてしまうと「行政は何をしてるんだ」というようななかで、どう賑わいを出していくのかと。 今年初めてデジタル賑わいスクエアというのを大型スクリーンを用いて、いつもは台船を浮かべその上でライブ演奏などで賑わいを出すんですけども、デジタルスクリーン放送とSNSで拡散をしていただくというやり方で、7月に実施する時期を10月にずらして道頓堀リバーフェスティバルと一緒にさせていただいて一体的な回遊性をもたせてミナミエリアの賑わいをだそうとトライアルしてみました。ただ、やってみるとデジタルスクリーンは大きな物を使用したんですが、なかなかリアルな演奏と違って人も集まりにくい、集まらなくて密になるのも困るんですけど、ちょっと少なくとも寂しいとその難しさ、SNSでの拡散は見受けられるがどれぐらいの拡散できたかの効果測定も難しいというところで、これからの課題と、実施してみた結果は何もなかったらしなかったで、それはそれで済むが、前に踏み出さないとも生まれないので頑張ってトライしてみたが、今回のそういった課題をどう克服していくかとするようなことを、いつも南海さんのお力添えをいただきながら事業をさせていただいてるんですけども、先ほど委員の先生もおっしゃっておられたWITHコロナをしっかりとどう行政として取り組んでいくのか考えていきたいと思っています。 それと、先ほど南海さんから報告されていたパネルの話ですが、魅力発信パネルということで、こちらの方で作らせていただいき河川課さんのお力添えもあって道頓堀橋下の通路で掲示しています。江戸時代から現在までの道頓堀の賑わいや歴史、時代ごとにまとめた名所や賑わいの様子、浪速のブロードウェイ、道頓堀の芝居文化ということで、道頓堀ブランドといったお話もありましたが、そのようなことで芝居の町から大阪随一の繁華街になり、それが南海様はじめ鉄道と街の発展、ミナミまちからターミナルシティへの変化というようなことでテーマごとにまとめたものなどの合計30枚のパネルを設置させていただいております。こちらのパネルは2セット作成し、1セットはリバーウォークで掲示していますが、もう1セットは貸出用としていて、実はなんばマルイさんで夏の間、パネル展ということで設置もさせていただいて、それを見られた方がまた道頓堀に足をお運びになるというようなことで、南海様から三谷部長、矢野課長もお話がありましたが、総合的な取り組みが活性化を生むということで、区役所としても精一杯取り組んでいるところで。 最後に1点だけ。魅力発信動画ということで、動画による発信などはどうかとご意見がありましたが、3月上旬に中央区で魅力発信動画というのを作らせていただいて、報道発表の予定もありましたが自粛期間の延長になりましたので見送ったのですが、道頓堀などの良さを動画で配信していくというようなことを中国大陸向けにコロナ後に来てもらおうというメッセージを込めまして、JCOM様から中国新報様、大阪市の上海事務所から中国人の方ということでTickTokやwechatなど50万PVがあるようなところに流してお越しいただくと。3月下旬ぐらいから進めていければと思っています。中央区のホームページでも掲載しています。以上です。</p>		中央区役所 谷口

議事録	作成日	担当
	2021/3/20	酒井
<p>はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。</p> <p>では、少し私の方からもよろしいでしょうか。</p> <p>大変厳しいなかで、委員の先生方もおっしゃったように健闘されたというか、これは是非、南海電鉄さんの経営陣の方にもお伝えいただきたいのですが、赤字やからやめてしまえということではなくて、この厳しい状況のなかで、大変努力していただいてなんとか持ちこたえていただいたというふうに、我々としては評価したいと思っております。本当に大変な状況の中で頑張っていたのだと思います。</p> <p>経営的な改善の部分とか個々の努力のことは先生方が言っていたいたんですが、例えば、ライトアップとかもコロナと連動していたイベントの中身をみても地元を元気づけるようなプログラムがたくさんあって、なんとか厳しい状況のなかでも何とかというところが垣間見えていて、単に公共空間を活用するとかそこで賑わいを生み出すとか収支をあげていくということ以外に、やはりとんぼりリバーウォークの意味みたいなものが改めて感じられるといいですか。</p> <p>どちらかというと、ニュースではグリコのネオンとかが映されて、感染者数を言われそれが定着して、ススキノとかもそうですし歌舞伎町もセンター街も、そうでしたけど、そういう風に流されてそのイメージが定着させられてしまった。というところが、地域の人、ミナミが落ち込んでいることっていっぱいあって、そういうのを発信することでとんぼりリバーウォークが使われているってことは大きな意味があると思いました。それで引き続き、新年度もおそらく厳しい状況がしばらく続くのだと思いますが、おそらく後半には皆さんもワクチン注射が打てるようになってくると状況も変化してくると。その時に向けてしっかり準備をしておくであとか、バーチャルとリアルの組み合わせでというふうに思います。</p> <p>あと、河川管理者さんをお願いなんですけど、勿論、いいときは民間さんの活力を活用して事業をやってもらってそれがうまく街の賑わいだとか公共空間の管理に繋がるのはもちろん結構なんですけども、やっぱり厳しいときは是非助けをあげてほしい。そうでないと、南海さんは事業としては切り分けられないといけないが、鉄道事業者さんとかかなり傷んでいるはずですよ。やっぱりしんどい時は助けるみたいなことはあってもいいかと思う。これは同じ例ではないかもしれないが、例えば道路だと歩行者利便増進道路(ほこみち)という今年新しい制度ができましたけど、コロナ特例で道路空間にお店を出してもいいというような特例があって、そういう今の状況をなんとか支えるみたいな制度仕組みができた。河川空間も同じだと思うんですよ。河川空間もこういう状況の時にうまくさせる役割があって然るべきかなというふうに思います。実は河川空間の利活用というのは、道路なんかより断然早くやってきたんだけど、ちょっとコロナの局面では少し遅れをとったような気がしていて、ぜひともその地域を支えるような河川空間の在り方をコロナの中でも考えていただくというのはあっていいかなと思いました。</p> <p>あと、宿題としていただいていたスケボーの話なんですけど、なかなか妙案がないのはわかってるんですけど、私が知っている事例だと愛知県の豊橋市の駅前で7つぐらい広場ができていて、やはりスケボーの問題があって、どうしたかという1つはスケボーの公園にした。公園運営のコミュニティーのなかにスケボーをやっているグループにも入ってもらって、仲間になってもらった。ただ、そのやり方は、とんぼりリバーウォークのどこかでスケボーができるようにするのかなど、色々問題もあるので、もう少しミナミ全体のなかで、ここはいいですよみたいなそういう話があるのかもしれないです。やはり結局イタチごっこで、スケボーというのは反社会的というか、あかんと言われてるところでやるのがスケボー文化なので、なかなか難しいですが、やはり対話ができるようになると局面が変わってくるかもしれません。私からは以上です。</p>	嘉名座長	
<p>あと、他はよろしいでしょうか。では、上山委員をお願いします。</p>	上山委員	
<p>道頓堀商店会の上山です。</p> <p>広告費はなんとか前年度比でプラスになっているということで、南海さんも非常にご苦労をされていると思います。やはり、リバーウォークに人を歩いてもらわないと基本的には賑わいは出ないと思います。それは皆さんも理解されていると思いますし、南海さんもわかっていると思います。太左衛門や戎橋からどういうふうに遊歩道にきてもらうか、ということが今後の課題としてやっていかなんかいけないが、コロナ禍で全体の人が少ないので、道頓堀商店会も余裕で歩けるんですが、コロナ前はインバウンドで商店会のところも多くなってきたというなかで、川側を歩けるようにしたらもう少し川側の沿川店舗のオープンカフェも増えてくるのではないかと。ひとつ大きな今後の課題があると思いますので、それを実施するにあたってどのように誘導していくか、川側に何かオブジェやパワースポットの的なもので都市伝説的なものをつくってみるとか、川側に置く場合には河川課さんの認可があると思うので、道頓堀全体を考えて今の規制を緩和させないと、何かを考えても実現が難しいと思う。せっかく検討会の場には、地元の民間や管理運営の南海、行政さんもうらっしゃるので知恵の出し合いなどもできるのでは。</p> <p>あと、一言でいうとあまり固いことは言わないようにしていただければ。大阪の中心の道頓堀の川、これから万博やIRというような話もありますし、やはり特区のような形で考えていかなければ、今後の未来を考えるとやっていけないと思ってしまうのと、このような場で提案していければいいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>	事務局 河川課 川戸	
<p>貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます</p>	事務局 河川課 川戸	
<p>南海さんもおっしゃったし、宗右衛門町さんもおっしゃってますし、上山委員もそうですが、人の流れをミナミとしてどのようにしていくか、いわゆるオーバーツーリズムの時にはやはり人が多すぎて商売に結び付かないということもおそらくあったでしょうし、やはりこれからなんば広場もできるなんさん通りも変わる、御堂筋も歩道が増える、それから宗右衛門町の通りも歩行者専用化されるとときに「とんぼりリバーウォーク」をどんな魅力的な場所にしていくのか、あるいはミナミをどのように回遊するか、今はどうしても戎橋筋の南北軸がすごいんですけど、これをいかにグルグルく回るまちに変えていくかが非常に重要で、そんな中でとんぼりリバーウォークが果たす役割みたいなところはかなり期待されているわけです。やはりそういうところの目的に一種の公共性ですが、公共性の目的があってそのために何かするということでは、規制緩和とか目的があればしっかりできると思うのでそういうところも是非、おそらく2025年の万博までというのがひとつの大きなタイミングだと思うので、そういう戦略も練りながら道頓堀の在り方を考えていく、とんぼりリバーウォークの在り方を考えていくということのどうかと思います。河川課だけの範疇ではなくってくる可能性はありますが、そのなかでも一番重要なポイントであるのは間違いないと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>	嘉名座長	
<p>今、オーバーツーリズムの話があり、さきほど中央区さんからの話で情報発信でまた海外にされているとの話で、私自身は否定するのではないですが、また同じような現象を生み出すのがいいのかどうかと、例えばコロナ前とかと同じような情報発信の仕方を検討していくのではなくて、先ほど嘉名座長がおっしゃっていた回遊性を考える場所なり空間なりの利活用というのが、今だからこそこの機会に検討すべきことじゃないかと思ひましたので、コメントさせていただきました。</p>	杉山委員	
<p>ありがとうございます。単に先祖返りというか、元に戻るわけですかですよということですね。</p>	嘉名座長	
<p>規制ということで思い出したのですが、以前に映画のロケで道頓堀川をドローンで撮影したいという希望があり、やはり人が多くいるところでのドローンは万一、落下したら危ないということで、結果撮影はお断りしたということ思い出したのですが、今ならできないのではないかと。人も少ない状況のなかなので、ドローンでと。川を一望できるような映像が撮れるので、非常に効果的ではないかと思ひましたので、また検討いただければと思ひます。</p>	豊島委員	
<p>はい、ありがとうございます。他にございませぬでしょうか。</p>	嘉名座長	
<p>先ほどお話のありましたドローンなんですけど、実は全国の河川管理者のなかでも話題になっておりまして、河川は基本自由使用となっており飛ばす事も可能ですが、やはり危険な状態というのを、我々管理者として見過ごせないで、その飛ばし方でもありますとか区域であるとか、そういったところは厳正に判断して許可を出すことになると思ひます。</p> <p>今現在市内の河川でドローンの許可を出したことは、まだないです。この道頓堀川は現在、人が少ないですが、人が少ない状況でも飛ばして安全かは重々検討が必要かなというところはあります。</p>	事務局 河川課 川戸	
<p>ありがとうございます。</p> <p>では、次の検討事項「道頓堀橋下通路の開放」について、事務局より説明をお願いします。</p>	嘉名座長	

議事録	作成日	担当
	2021/3/20	酒井
<p>(3)検討事項</p> <p>◆道頓堀橋下通路の開放について</p> <p>それでは説明させていただきます。</p> <p>検討事項3,「道頓堀橋下通路の開放」について、<資料4>の9ページ、先ほど南海さんから説明がありました内容です。「道頓堀橋下通路 月別通行者数一覧」をご覧ください。2019年11月から開放時間を1時間延長し、その後昨年8月には閉鎖時間を無くし、24時間開放にしたところを報告いただきましたが、現時点ではあくまで試行実施というかたちで、完全上、管理上の問題ないかを南海さんが探っていただいている状態となっています。この間、南海さんともこの状況について報告を受けておりました。大阪市としても24時間開放したとしても一定の通行者もあるということ、プラスα、安全管理上、防犯上についても問題もないということをおっしゃる判断しているため、この検討会をもって3月末までは試行実施とし、4月からは本格実施というかたちで、試験的な扱いではなく24時間開放するというかたちでいかせていただきたいと思います。事務局からは以上です。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>かなり、試行的にやっていたということですが、問題等も起きてないということで本格実施にしたいということですね。</p> <p>いかがでしょう。よろしいでしょうか。</p> <p>勿論、引き続き安全対策等々についてはしっかりやっていただくということで。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして、(4)その他 となりますが、今回は特定の議事は決めておりません。道頓堀川の賑わい創出について、すでにご意見いただいていることと被るかもしれませんがいかがですか。この場を借りて河川管理者に何か言いたいことでも。</p> <p>よろしいですか。特にないということで、様々なご意見ありがとうございました。</p> <p>大変厳しい状況の中、南海電鉄さんにはかなり頑張っていただいたこともあり、大変とだとは思いますが、引き続きよろしくお願ひしたいと思ってます。</p> <p>予定しておりました議事については以上になりますが、他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それではマイクを事務局へお返しします。</p> <p>4. 閉会</p> <p>嘉名先生、大変ありがとうございました。</p> <p>検討会の予定内容はこれですべて終わりました。</p> <p>本日はお忙しいところ、貴重なお時間をいただきありがとうございました。委員の皆さまにおかれましては、今後とも引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>次回開催は、令和4年2月から3月頃を予定しておりますが、冒頭でご案内のとおり、案件の状況に応じて臨時で開催する場合もございますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして、「第2回 道頓堀川水辺空間利活用検討会」を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>	<p>事務局 河川課 松原</p> <p>嘉名座長</p> <p>事務局 河川課 古川</p>	